

令和7年度大崎市民憲章書道コンクール表彰式を行いました

10月7日、令和7年度大崎市民憲章書道コンクール表彰式を行い、最優秀賞と優秀賞の受賞者を表彰しました。

市内の小・中・義務教育学校27校から214点の応募があり、審査を経て最優秀賞・優秀賞・入賞・佳作の計28点の作品を選定しました。入選作品は、11月11日(火)まで展示しています。子どもたちの力作を鑑賞しませんか。



▲最優秀賞・優秀賞受賞者の皆さん

大崎市民憲章書道コンクール 最優秀賞・優秀賞受賞者		
区分	氏名	学校・学年
最優秀賞 (2人)	▶ 神田 ことこさん	古川第二小学校4年
	▶ 高橋 朋輝さん	古川西小中学校9年
優秀賞 (7人)	▶ 渡邊 佐和さん	敷玉小学校3年
	▶ 高橋 詩月さん	古川第三小学校4年
	▶ 阿保 寛樹さん	古川第五小学校5年
	▶ 佐藤 瑞穂さん	古川第一小学校6年
	▶ 荒木 萌々日さん	古川北中学校1年
	▶ 藤井 詩織さん	古川黎明中学校2年
	▶ 掛地 兼太さん	田尻中学校3年

— 入選作品の展示 —

期間 11月4日(火)～11日(火) 9時～21時
(初日は正午から、最終日は14時まで)
場所 図書館(来楽里ホール)1階



千手観音まつり 田千土手人 ～千の手で繋がる田尻～を 開催しました

9月21日、田尻地域で「千手観音まつり 田千土手人 ～千の手で繋がる田尻～」を開催しました。

田尻地域の「宝」である国指定重要文化財「木造千手観音坐像」を多くの人に知ってもらうことを目的とした祭りで、今年で4回目を迎えました。

当日は天候に恵まれ、訪れた人たちはクイズラリーを通じて「木造千手観音坐像」への理解を深めるとともに、飲食ブースで「すずかけぎょうざ」など田尻地域の食を満喫しました。また、田尻すまいる園の園児たちが「木造千手観音坐像」をモチーフにした創作みこしを担いで練り歩く姿に、会場は笑顔に包まれました。

今後も、地域一丸となって田尻地域の「宝」を未来へつないでいきます。



▲元気なかけ声とともにみこしを担ぎました

第17回羽黒山彼岸花の里まつりが開催 されました

9月23日、古川地域の羽黒山公園および周辺で「第17回羽黒山彼岸花の里まつり」が開催されました。

羽黒山公園は、地元の「羽黒山をきれいにする会」が中心となり手入れされ、約15万本のヒガンバナが群生する名所として知られています。残暑や少雨などの影響で開花が遅れていましたが、祭りに合わせて丘一面を真っ赤に染め、多くの来場者を出迎えました。

また、祭り当日は屋台や手作り雑貨の店などが立ち並び「彼岸花マルシェ」や、太鼓やダンス、民謡などのステージイベントでにぎわいました。

心地よい秋晴れの下、来場者は見て食べて秋の訪れを満喫していました。



▲満開のヒガンバナを鑑賞する親子

陸羽東線まつりを開催しました

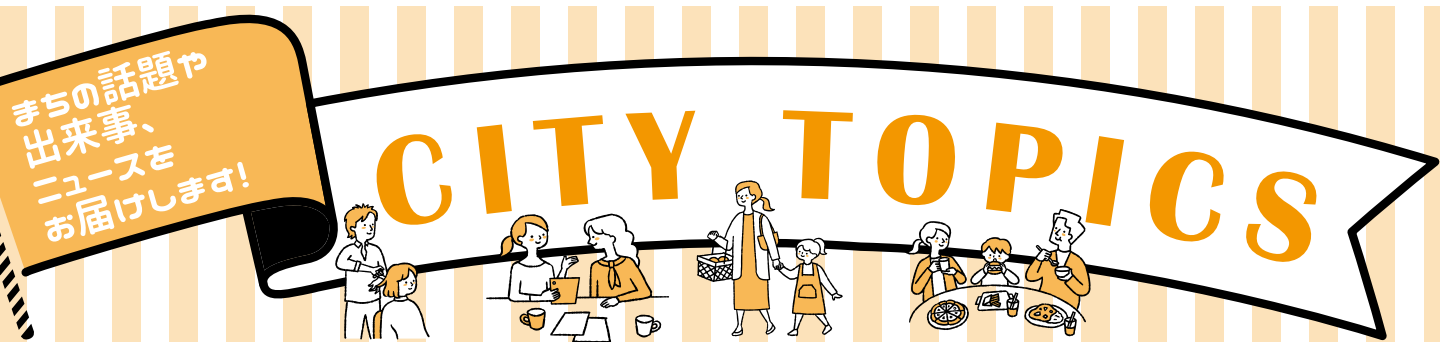
10月11日、JR古川駅・西古川駅・有備館駅・鳴子温泉駅の4駅で、JR陸羽東線の利用促進を目的に「陸羽東線まつり」を開催しました。

古川駅では高倉薬太鼓の迫力ある演奏や地元の食材を集めた「おおさきGIAHS食の市」、西古川駅ではジビエ肉の試食・販売やミニSLの運行、有備館駅では「内川」歴史探訪ウォークや甲冑着付け体験、鳴子温泉駅では音楽ステージや東北のクラフトドリンクの出店など、地域の特徴を肌で感じるイベントで盛り上がりしました。

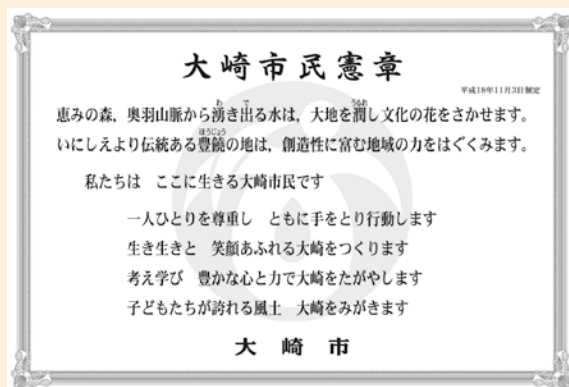
また、各駅を巡り新米『ささ結』などが抽選で当たる「陸羽東線のってみっ



▲古川駅でオープニングセレモニーに華を添えた高倉薬太鼓



大崎市民憲章の構成



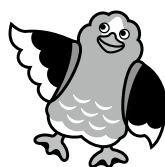
前文

恵まれた自然、豊かな文化、先人の築いてきた歴史と伝統への敬意と賞賛をうたい、市の風景が浮かぶように表現されています。

本文

市民が市に生きる誇りや喜びを感じ、市民としての責任を持ち、個人の尊重、互助精神、住民協働、安全・安心で快適な暮らし、人材育成や産業振興を希求し、先人から引き継いだ歴史や文化に磨きをかけ、次代を担う子どもたちが誇れる市を創造していくという思いが込められています。

大崎市民憲章に
込められた思いとは



まちづくり推進課地域自治・NPO担当 ☎5069

大崎市民憲章は、平成18年11月3日に制定され大崎市に住む全ての市民の基本的な規範、指針となる宣言です。

11月は、市民憲章の制定月です。改めて、市民憲章に込められている思いを紹介します。

■市民憲章の配布

市民憲章の掲示を希望する個人や事業所などに、市民憲章の額(A2サイズ、420ミリメートル×594ミリメートル)を配布しています。

詳しくは、問い合わせください。